

(鹿児島県) 霧島市立陵南中学校

I 研究の概要

1 研修主題 (テーマ)

『伝え合い、認め合い、共に高め合う力の育成を目指して』
～金融教育の実践を中心に～

2 主題設定の理由

中学校において、令和3年度から全面実施された学習指導要領では、「学びを人生や社会に生かそうとする」、「学びに向かう力や人間性等の涵養、生きて働く知識や技能の習得」、「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成」が求められている。新しい時代に必要とされるこれらの資質や能力を育成するにあたっては、生徒同士が互いの関係性を活かしながら学んでいくことで、より大きな効果が期待できるものと思われる。こうした認識の下、昨年度までは、道徳教育の実践を中心に本テーマを追究する中で多くの課題を解決することができ、一定の成果を収めることができた。

しかし、メインテーマである「伝え合い、認め合い、共に高め合う力の育成を目指して」については、新学習指導要領が求める生徒の資質や能力を育てようとしていく際に、継続して追究する意義が十分にあるテーマであると考えられる。そこで、本年度もメインテーマを据え置き、テーマへアプローチしていく具体的な実践を「金融教育」として研究を進めていくこととした。

具体的な実践として「金融教育」を取り上げた理由は以下の2点からである。

(1) 生活環境の変化

現在の子どもたちは、以前と比べてお金やものに囲まれた豊かな環境の中で育ち、カード決済やインターネット、スマートフォン等の普及などもあって、欲しいものが容易に手に入る傾向がみられる。また、親の働く姿を見る機会や自ら働く機会が減少し、働いて生計を立てる自覚や現実に即した職業観をもちにくくなっているといわれる。お金の価値に関する実感や生活感が薄れ、子どもたちに安易な購買行動や借入態度が広がっていけば、将来、生活力に乏しい大人や多重債務者の増加を招くことにもなりかねない。既に、子どもに関連した金融トラブルが増加していることなどが社会的な問題として指摘されている。豊かで情報技術が発達した時代だからこそ、改めて子どもたちにお金の価値を実感させ、お金をしっかり扱う態度を身に付けさせることが強く求められている。

(2) 経済社会環境の変化

わが国の経済は、少子・高齢化や人口減少という成長制約要因を抱えながら、先進国へのキャッチアップ型ではなく、自らの力で新しい発展の道を切り開かねばならない時代に移行してい

る。この間、グローバル化やIT化の進展に加え、金融をはじめとする多くの分野で規制緩和が進められている。これらは一面で新たな成長の種を提供するが、他方では個人や企業間の競争が一段と厳しくなることを示唆している。さらに、これまで政府が提供してきたセーフティネットの力が衰えるとともに、様々な犯罪や事件が増え、社会的なストレスも増大している。こうした中、次の時代を担う若者には、第1に、一人一人がそのもてる力を最大限発揮して、経済社会の活力向上に寄与することが求められる。第2には、生き方への自由度や選択肢が広がる一方で、生活（職業）、財産、人生経路等に関する不確実性が高まっているため、これまで以上に、個人がリスクをしっかりと認識し、判断に必要な情報を自ら収集して、自己の責任で的確に意思決定していくことが求められる。第3には、個人が自己の利益のみを追求するのではなく、社会的ルールや法律を守る意識や倫理観の再構築、社会（国際社会を含む）への貢献、わが国の伝統や文化の再認識、地域コミュニティの再興、自然環境の保全など、様々な形でよりよい社会づくりに進んで寄与することが求められている。

以上のような理由から、お金や金融・経済に関して学び、社会の中で生きる力を育むことを狙いとする金融教育の実践を通して、本校の研究テーマを追究していきたいと考えたものである。

3 研究の仮説

金融についての学びを互いに伝え合ったり、認め合ったりするなどの協働的な活動を中心に実践していけば、共に高め合う態度や力が生徒に育つのではないか。

4 研究の内容

(1) 実態把握（アンケート実施[変容前・変容後]）

金融に関する意識調査（金銭感覚、使途、金融に関する事象への関心等）

(2) 全体計画・年間指導計画の作成

(3) 「金融」を視点とした取り組み例

ア 各教科等との関連内容の拾い上げ

イ ジオパーク学習（例：環境保護施策、ヒトやモノ・「カネ」の流れ等）

ウ キャリア教育（職場体験学習での各事業所の金融情報の学習、地場産業・産物等）

エ 租税教室

オ 購買部における物品販売活動補助（仕入れ、販売、売り上げ管理等）

カ ネット社会における金融教育（キャッシュレス社会、クレジット契約〔成人年齢引き下げ（2022年4月）〕、カード取引、ネット通販、ゲームの課金トラブル、特殊詐欺等）

キ 情報教育（情報モラル、情報セキュリティ）

ク 講演会（金融広報アドバイザー、情報モラル等）

ケ 出前授業

コ ライフプランニング

5 研究計画

(1) 1年次

- ア 先行研究の把握（資料や情報の収集），生徒の実態把握（変容前）
- イ 全体計画・年間指導計画作成，各教科等との関連一覧作成
- ウ 実践研究（金融を視点とした取組）
- エ 中間報告書作成

(2) 2年次

- ア 課題の焦点化
- イ 実践研究（金融を視点とした取組）
- ウ 生徒の実態把握（変容後）
- エ 研究のまとめ【最終報告書】（成果と課題）

6 研究についての共通理解の場（令和2・3年度本研究に係る校内研修計画）

| | | 内容 | 担当 |
|-------|---|-----------------------|-------|
| 令和2年度 | 1 | 金融・金銭教育について（始めるに当たって） | 金融教育係 |
| | 2 | 金融・金銭教育について（計画・前回補足分） | 金融教育係 |
| | 3 | 金融・金銭教育（中間報告） | 金融教育係 |
| | 4 | 金融・金銭教育（1年間のまとめと次年度へ） | 金融教育係 |
| 令和3年度 | 5 | 金融・金銭教育について（最終年度計画） | 金融教育係 |
| | 6 | 金融・金銭教育（中間報告） | 金融教育係 |
| | 7 | 金融・金銭教育について（2年間のまとめ） | 金融教育係 |

II 研究の実際

1 「金融教育オリエンテーション」

- (1) 日時 令和2年7月27日（月）4校時
- (2) 場所 体育館・各教室
- (3) 対象 全校生徒（160名）
- (4) 内容

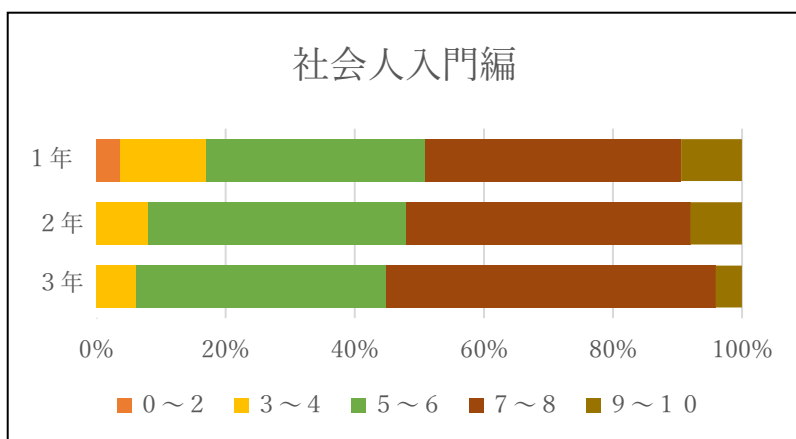


【体育館】金融教育全体オリエンテーション

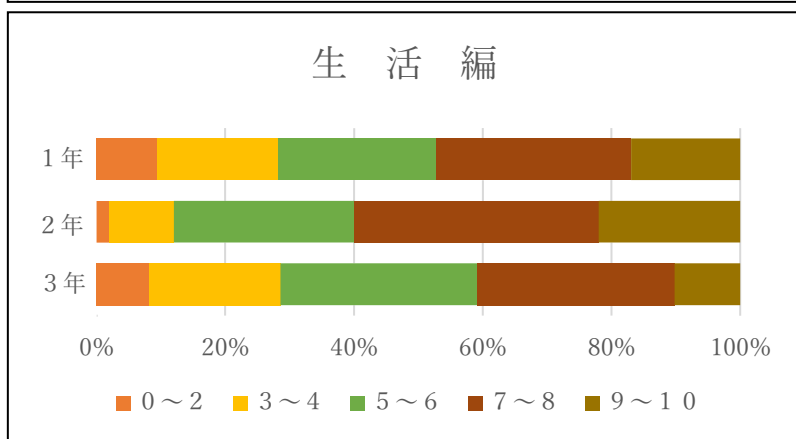
【各教室】金融教育アンケート（ひとり暮らしの自立度チェック）



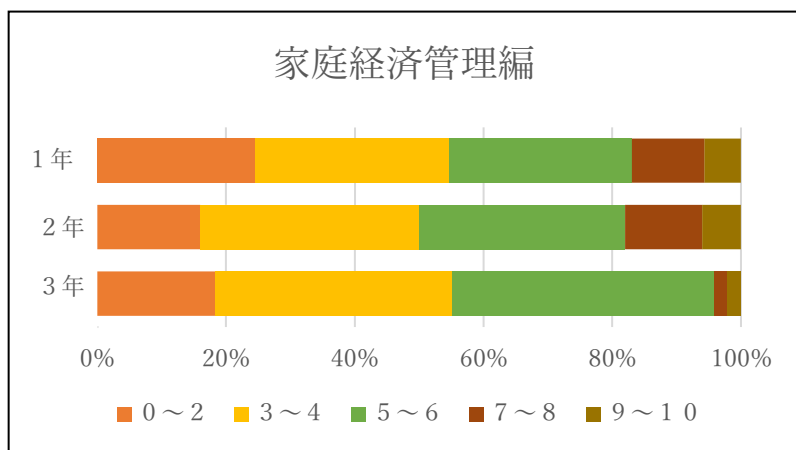
<アンケート結果>



質問項目の一部



質問項目の一部



質問項目の一部



(アンケート)出所：金融広報中央委員会「これであなたもひとり立ち」ひとり暮らし自立度チェック

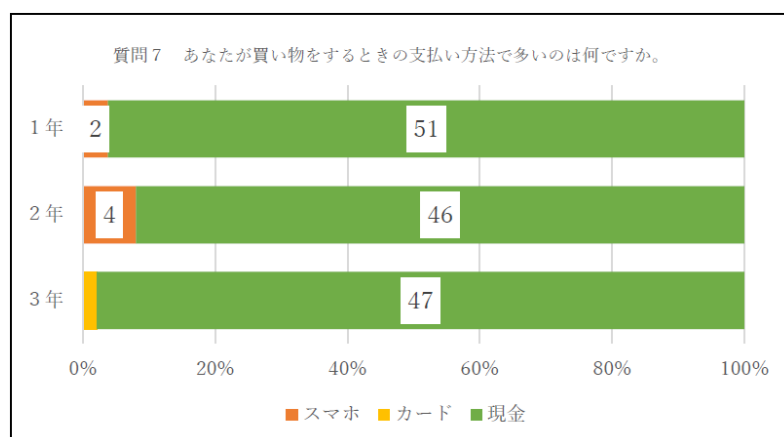
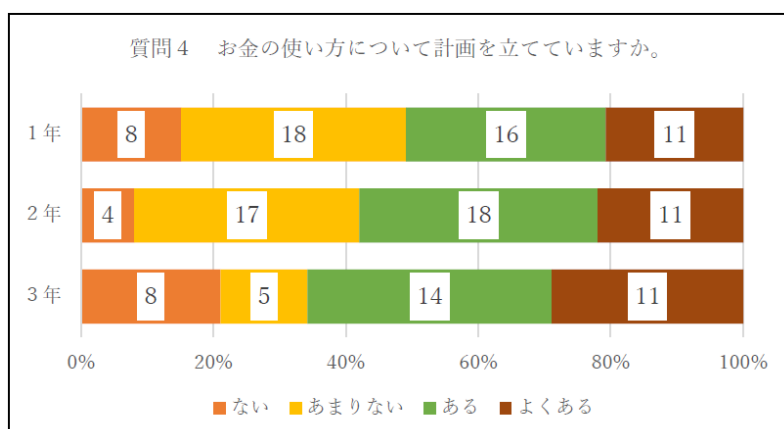
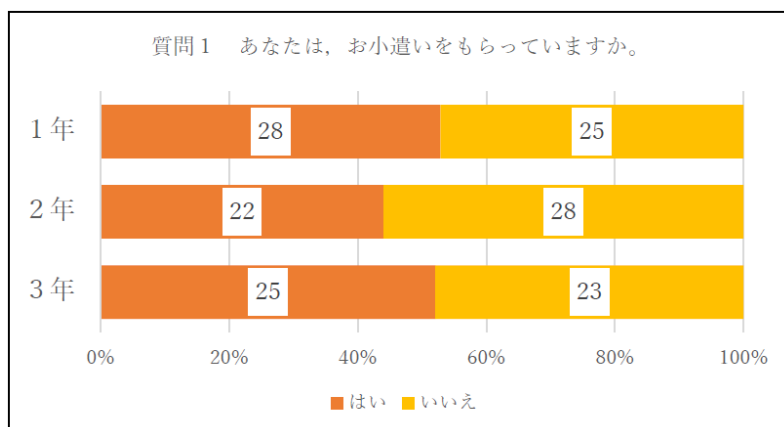
<考察>

- ・アンケートのうち「社会入門編」については、8割近くの生徒が設問の半分以上を理解していると答えている。
- ・同「生活編」については、2年生がより多く理解し、実行している傾向がある。
- ・同「家庭経済管理編」では、どの学年も理解度が低く、特に「消費者金融」について低くなっている。

<今後の取組>

- ・各編において各自が理解できていないことの調べ学習を進め,意識を高める。
- ・どの学年も「消費者金融」についての知識が低いことから,各学年に応じた授業を行っている。

2 「金融教育アンケート（生徒自身のお金に関して） 11月第3週実施」



<考察>

- ・アンケートの結果「お小遣いをもらっている」と答えた生徒は,どの学年でも概ね半分ほどである。

- ・お金を計画的に使えているかについては、学年が上がるほど計画的に使えている生徒が多い。
- ・支払い方法については、ほとんどの生徒が現金だがほんの一部ではあるがスマホでの決済などを利用している。

<今後の取組>

- ・今後、スマホやカード決済の利用が増えることが考えられるので、専門的な知識等を学ぶために外部より講師を招聘する。
- ・お金に対する価値観等の意見交換等を行い、望ましい価値観の育成を図る。

3 「租税教室」

- (1) 目的税についての知識を高めるとともに、税がどのように使われているのか身近な学校や家庭を例に考え、今後の生活や将来に生かせるようになる。
- (2) 日時 令和2年6月26日（金）6校時（15：00～16：15）※作業カット
- (3) 場所 本校体育館
- (4) 参加者 本校全生徒（160名），職員
- (5) 講師 税理士 濱崎育久氏
- (6) 講演テーマ「税と暮らし」
- (7) 本時の展開・講演内容予定

| 課程 | 講演内容 | 留意点 |
|-------------|--|--|
| 導入 (5分) | 税理士とは何か。税理士の扱う仕事内容の紹介。 身近なところで仕事をしていることを気付かせる。 | 生徒のイメージ 「自分たちとは関係のない仕事」などが考えられる。 |
| 展開 (30分) | <ul style="list-style-type: none"> ・資料「わたしたちの生活と税」（租税教育推進協議会）を使って説明。 ・税にはどのようなものがあるか。 ＜例＞消費税，住民税，所得税など ・税金のお金はどんなところに使われているか。 学校をつくるお金はもちろん，購入する多くの物品は税金からのお金でまかなわれている。 ・DVD視聴「ご案内しますアナザーワールドへ」税金のない世界になったら，どのようなことが起こりえるのかを考えさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料を活用する際に，指示されたページを開いているか教師が見回る。 ・日本には多くの税があることに気付かせる。 ・税金で集められたお金は，身近なところで使われていることを実感させる。 ・税金を払うことで，自分たちの生活が守られていることに気付かせる。 |
| 終末 (5分) | <ul style="list-style-type: none"> ・一億円の札（レプリカ）を持ってみる。 | 生徒のイメージ 「意外と少ない，けど重い」 |

(8) 感想文記入 (15分間)

生徒は講演終了後、各教室に戻って感想文を記入する。

写真1 講演の様子



写真2 DVD視聴



〔生徒の感想〕

【1年生】

○私は、自分の周りには、税金でつくられたのものだらけだと思いました。毎日通っている学校は、ほぼすべてが税金でまかなわれているし、道路も税金によって整備されているし、警察、消防、病院も税金がないと運営できないし、普通の人は使えないということになります。税金がないと今の普通の生活が出来なくなるなんて想像もつきません。でも実際にDVDを見ると、税金によって社会を維持していくことはすごく大変だと思いました。私は、人々が暮らしていく上で、税金は必要不可欠だと思います。私は、これからより一層税金でまかなわれているものを大切にあつきたいと思います。

○税金は、いろんな工夫でみんなが公平に払うことになるようにできていて、税金がないとやっぱり大変なことになるんだなと思いました。物を買った人がみんな同じように払う消費税、収入を得た人が金額に合わせて払う所得税、ほかにもタバコやお酒にも消費税とは別に税を払うことになって大変だけど、払わないと自分も社会も大変なことになるからしっかり納めないといけません。今日の話で税金のことがいろいろ分かりました。これからも税金に感謝していきたいです。

【2年生】

○税金は、私が思っていたより、大切なもので、種類が多いものだと知った。DVDを見て、税金がないと警察や消防も運営にお金がかかるし、学校に行くことができないなど、普段当たり前のことが当たり前でなくなるということが改めて分かった。そして、税にも消費税、所得税など様々な種類があり、たくさんの方に役立つことを実感した。消費税が8%から10%に上がったけど、上がった分、たくさん役立つのだろうと思います。これからも税を大切にしていきたいです。

○今日は、税金についてよく知ることができて良かったです。普段当たり前のようにある税金がとても大切だということが分かりました。例えば、私たちが使っている教科書、学校の机、イスまで税金が使われていることを知り、税金はたくさんの人に役立つのはすごいなと思いま

す。なので、机、イス、教科書、他にも使われているものを大切にしていきたいと思います。今回は、私たちのために租税教室を行ってくれてありがとうございました。税金の大切さを知ることができて良かったです。

【3年生】

○私は今まで税金はなんで払わないといけないのか、消費税のためにお金を10%多く払わないといけないことに不満を感じていました。でも、今日の租税教室を通して、税金を払わないと大変なことになってしまうことを知りました。一番驚いたことは、税金がないと消防や警察の運営にお金がかかるということです。私たちが今当たり前に見たり、助けたりしてもらっていることは税金がないとできないんだなと思い、緊急時などにすぐ駆けつけてくれないのは怖いと思いました。また、子どもたちや高齢者は、税金がないと、学校に行くことができなかつたり、働くことを終えたあとはお金がなくなってしまう生活も苦しくなってくると思うと私たちは今、税があることで本当に幸せに暮らしていると思います。これからも自分のために、みんなのためにしっかり税金を払って生きていきたいです。

○税金の話は過去に何度か聞いたことがありましたが、資料や動画、お話を聞いて難しいことだけど理解が少し深まりました。私が印象に残ったお話は、税金には多くの種類があることや私たち中学生に101万5千円ほどの税金が使われているということです。教科書なども日本で働いた人が税金として払ったお金で負担されているので、大切に扱い十分生かす必要があると改めて感じました。感謝して使っていきたいです。私は、税理士という仕事にも少し興味があつて、お話の中でも税理士についてのお話やおおまかな仕事についてのことを聞くことができたのも良かったです。今日は、税金について知れて本当に良かったです。

【教職員】

○生徒によっては、税の基礎知識の足りない子もいるので、講師の先生がお話しされる内容が、資料や画像などで見られれば、理解に役立つのではないかと思います。途中で、クイズ形式やジャンケンで答えさせたり、最後に1億円を受け取った場面は、楽しくて良かったです。

○税の仕組みが無かったら社会が日頃の生活がどうなるかを再現したアニメは、生徒に分かりやすかつたと思う。

4 第1学年 実践

特別活動（金融教育）学習指導案

日時 令和2年11月27日（金）6校時

場所 霧島市立陵南中学校 1年1組

対象 男子14名 女子14名 計28名

指導者 教諭 南睦美

1 題材 自分の将来とお金について考えよう

2 題材設定の理由

生涯において生活を営んでいくうえで、その基盤を支える経済や金銭について考えることは、必要不可欠なテーマである。生徒はこれまでの学習の中で、経済や金銭という側面から、将来について考えを深めてはいない。本題材では、将来の主な収入を得るための基盤となる働き方の形態にくわえ、教育費について考え、生きる上でのお金について考えさせたい。

3 本時のねらい

- ① 働き方について様々な雇用形態があることと、その特徴等について理解する。
- ② 教育費等について調べ、この先の進路情報のひとつとすることができる。

4 本時の展開

| 過程 | 生徒の活動 | 指導上の留意点（○）と評価【 】 |
|---------------------------|--------------------------------------|--|
| 導入 | 1 活動のねらいの理解。（5分） | ○教師による収入等の資料の提示。 |
| | 主題 自分の将来とお金について考えよう。 | |
| 展開 | 2 将来働くことと、経済の関係について考える。 | |
| | 3 将来や働くことと経済性との関係、雇用形態等について考える。（15分） | ○「働くことと収入」「雇用形態」「働き方改革」等に関して自分の興味・関心が高いものについて考える。 ○勤務形態、勤務時間、収入等の各特徴について比較による共有。 【知・技】題材に沿った調査により様々な働き方があることを理解できたか。 （ICTの活用、共有、観察） |
| 4 調べた内容の小集団による共有を図る。（10分） | | |

| | | |
|------------|--|---|
| <p>まとめ</p> | <p>5 「進学にはどれくらいお金がかかる」によりグループで話し合いながら教育費の状況を知る。(10分)</p> <p>6 教育費の状況についての感想を共有する。(5分)</p> <p>7 本時についての感想を発表する。(5分)</p> | <p>○P59を参照。</p> <p>○自分の素直な気持ち(「高い」「保護者への負担」「塾」「受験料」等の)の共有。</p> <p>【主】教育にかかるお金の実際を知ることができたか(共有, 感想, 観察)。</p> <p>【思・判・表】将来とお金の関わりについて, 考えることができたか。(感想, 観察)。</p> |
|------------|--|---|

○1年生の授業の様子～自分の将来とお金について考えよう～

写真3 授業板書

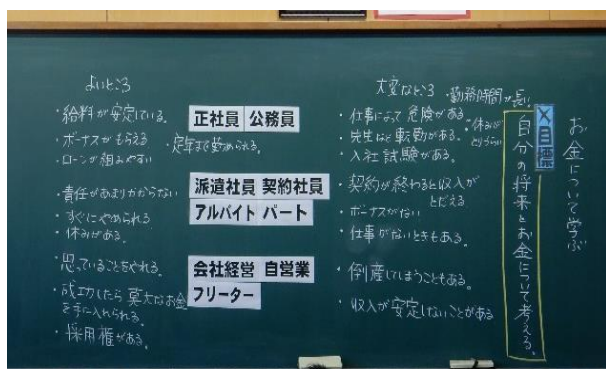


写真4 グループ学習



[生徒の感想]

まだ、何になりたいか、夢がないので今日学んだことを活かして、これからの職業につけるよう頑張りたいです。進学にはとてもたくさんのお金が必要になり、それは親に払ってもらうことになるので、手伝いなど進んでほしいと思いました。就職したら少しでもお金を親に送って、喜んでもらえるようにしようと思いました。

私は中学校、高校でこんなにお金がいるということを知ることができました。そして、色々な働き方があることを知ることができました。今日の授業で、お金が大切ということも分かったので、これからは大切に使うと思います。

社会人として生きることの大変さが分かりました。それぞれの仕事のメリットとデメリットが分かりました。また、様々な働き方があることも知ることができました。

年が上がるにつれ、学費が高くなることは知っていましたが、ここまで高いとは思っていませんでした。親にはすごく迷惑をかけるんだと思いました。

お金をかせぐためにはどんなことをするにも、大変なことがあると知ることができた。

労働の雇用形態は、それぞれ違って、大変なところが印象に残ったので、自分の将来を考えていくことが分かった。

お金をかせぐために、どんな仕事があるのか分かったし、その仕事には色々な良いところ、大変なことがあるんだと知ることができた。

色々な働き方があり、どれも良いところ、大変なところがあるから、いつでも頑張らないといけない。大人になるまでに、多くのお金が関わっていることも知った。

親は、私にすごい額のお金を払ってくれているし、私の妹2人、弟が1人と考えると、もっとこれから色々なお金がかかってくるから、できるだけむだ遣いをしないようにしたいです。

今まで、自分の将来のことを考える機会がなかったの
で、いい機会になりました。自分たちが高校、大学に行くのに、こんなにお金がかかるとは思っていませんでした。

5 第2学年 実践

特別活動（金融教育）学習指導案

日時 令和2年11月27日（金）6校時

場所 霧島市立陵南中学校 2年2組教室

対象 男子15名 女子11名 計26名

指導者 教諭 本田祥一

1 題材 お金との上手なつきあい方（安全な生活を守るために）

2 題材設定の理由

生徒は、私たちが生きて行くうえにおいて、金銭や経済との関係が、切っても切れない関係にあるということについて十分に理解しており、日常生活を営む中で、金銭の重要性であったり、必要性は十分に納得し、最近では電子マネー等の新たな金銭の利便性も実感している。一方で、子どもたちのお金を取り巻く環境は変化しており、ゲーム等による課金の問題等も報道では取りざたされている。本題材では、生徒に生活を支える金銭や経済について改めて考えさせ、その適正な使い方、金銭の大切さ等についてしっかりと向き合っていく意識を持たせたい。

3 本時のねらい

- (1) 金銭等について、その価値を理解し、重要性について理解することができる。
- (2) 金銭トラブルの事例を通し、金銭との上手なつきあい方について考えることができる。

4 本時の評価の視点

- (1) 知識・技能／金銭の価値等について、再認識することができたか。
【自己理解・自己管理能力】
- (2) 思考・判断・表現／金銭の価値を理解し、上手なつきあい方についての意識が持てたか。
【人間関係形成・社会形成能力】
- (3) 主体的に学習に取り組む態度／金銭を上手につきあう意識を持つ契機となったか。
【課題対応能力】

5 本時の展開

| 過程 | 時間 | 生徒の活動 | 指導上の留意点(○)と評価 (【 】) |
|----|------------|--|---|
| 導入 | 7 (7) | 1 生活に不可欠な金銭の流通や税金の概略について知る。 | ○ 社会生活を営んでいくうえで、金銭が大切であることを理解。 |
| | 8 (15) | 2 欲しいものはあるが、購入するための金銭が不足する場合の対応について考える。 | ○ ワークシートの準備。 |
| | 2 (17) | 3 学習課題を確認する。 | ○ 学習内容を確認させ、課題に向き合う意欲を喚起する。 |
| | | お金と上手なつきあい方について考えよう | |
| 展開 | 5 (22) | 4 『お金との上手な付き合い方』に取り組む。 | ○ 小集団によるロールプレイ。 ○ 小集団の人数に応じた役割（演技者＋観察者）。 ○ 様々な役割の経験による視点の多様化。 ○ 演技者の気持ちの交流による価値観の深化。 ○ それぞれの立場からの意見や観察してみたの印象等についての話し合いと共有。 【思・判・表】ロールプレイにより、お金の貸し借りの気持ちや回避への想いを感じることができたか。 (ロールプレイ/話し合い) |
| | 3 (25) | ① A・B・C3役の役割について、それぞれの回答をシミュレーションする。 | |
| | 10 (35) | ② 3人の役柄をローテーションして演じてみる。 | |
| | 8 (43) | ③ 何回か演じてみる。 | |
| | | ④ ロールプレイを見た立場、役割を演じた立場、それぞれの視点から話し合いを行う。 | |
| 終末 | 4 (47) | 5 小集団で話し合った内容について、全体での発表により共有を図る。 | ○ 金銭トラブルを回避する意識の気づき。 ○ 様々な金銭トラブルがあることへの理解。 |
| | 3 (50) | 6 本時について振り返る。 | ○ 本時の感想等の共有。 【主】お金の重要性とともに、金銭を扱う難しさについて理解できたか。(話し合い/発表) |

6 主体的・対話的で深い学びに向けて

- (1) 生徒に金銭トラブルの事例を発表させる際は、個人情報等に十分な配慮が必要である。
- (2) 金銭トラブルに関する学校からの情報は、リアリティのあるものを提供し、臨場感を持たせる。
- (3) ロールプレイでは、役割に応じて率直な感想を自由に述べさせる。

写真5 導入の場面



写真6 回答のシミュレーション 写真7 ロールプレイの様子



〔生徒の感想〕

- ・前もって欲しいものの値段を確認して、買えばいいと思います。しっかりと考えて買い物をしたいです。
- ・無駄な使い方をせず、最低限だけ使って貯めていた方がいいと思う。友達の間では、お金の貸し借りはしないのが一番いいと思う。
- ・お金が足りないときは、買う物を我慢してお金の貸し借りはダメだと思った。クレジットカードを持ちすぎないようにしたいです。
- ・自分自身が困らないようにお金を無駄遣いせず、人に貸してと頼まれても、絶対に貸さないようにします。欲しいものはお年玉まで我慢します。
- ・将来、しっかりとした職業に就いて、欲しい物は自分でお金を貯めて買おうと、強く思うことができました。
- ・先のことを考えて貯金したり、使いすぎに気を付けたりしていったほうが良いと思いました。両親や祖父母から私のことを思ってくれたお小遣いは大切に使用したいと思います。
- ・借りる人は約束した日までに必ず返す。貸してと言われたら、あまり貸したくないのが本心だけど、信頼できる人にはお金を貸して助けてあげたい。
- ・お金を貸すときは、戻ってこないかもという覚悟を持って貸すことを覚えておきたい。
- ・軽い気持ちや口約束でお金を貸すのは良くないと思いました。しっかりと書類を取っておきたいです。
- ・相手が困っているからといって、ポンポン貸すのではなく、その後のことも考えて判断していきたい。
- ・自分が100%信頼できる相手に貸す。また極力、人からは借りずに安心安全な銀行などの金融機関から借りるようにしたい。

- ・お金を借りたら，なるべく早いうちに返すことが大切だと思う。相手に貸すときも相手との信頼関係や金額などを考えながら貸すように心がけていけないと思う。
- ・お金を借りたら，貸してくれた人には必ず返さないといけないと思いました。返さない信用もなくなるし，友達関係も崩れていくと思うので，借りたらしっかり返すようにしたいです。
- ・先週，友達に電話代の10円を借りていたにも関わらず，お金を返していないことに気がきました。たった10円かもしれないけど，僕が借りた友達はお金が返されないことで困っていると思います。友達との良い関係を壊さないためにも明日には必ず返したいです。また，その時には，すぐにお金を返せなかったことを謝りたいと思います。

6 第3学年 実践

特別活動(金融教育)学習指導案

日時 令和2年11月27日(金)6校時

場所 霧島市立陵南中学校 図書室

対象 3年 男子26名 女子26名 計52名

指導者 教諭 野崎義文

1 題材 買入金に対する返済

2 題材設定の理由

生徒は，金融の知識が必要不可欠なことは知っているが，具体的にどのような知識が必要かは分かっていない状態である。高校進学を控え，18歳から契約などができることを考え，商品を購入した際の「返済計画」を立てることにした。本題材では，「分割払い」や「リボ払い」について考えさせ，商品を購入する際に適切な返済方法を選択できる意識を持たせたい。

3 本時のねらい

- (1) 計算機を使って，返済方法や返済の異なる設定において手数料を計算することでお金の使い方について考えさせる。
- (2) 私立高校の入学時の必要経費を計算することでより身近にお金の大切さを感じさせる。

4 本時の評価の視点

- (1) 私立高校の入学時における必要経費を求めることができる。(興味・関心)
- (2) 「分割払い」と「リボ払い」の返済方法の違いを理解することができる。(知識・理解)
- (3) 「リボ払い」における返済手数料を買入金及び毎月の返済額の設定に合わせ求めることができる。(技能)
- (4) 返済方法や返済計画を立てて，無理のない借入を考えることができる。(見方・考え方)

5 本時の展開

| 過程 | 主な学習活動 | 時間 | 指導上の留意点 |
|----|---|----------|---|
| 導入 | 1 私立高校の入学時に係る費用を表を使って計算する。 | 7分 | 1 計算機を使って、夏服など個々の必要枚数に応じて費用を計算させる。 【興味・関心】 およそ22万円～27万円 |
| 展開 | 2 学習問題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">急にお金が必要となり、借りることになったときどのような方法があるだろうか。 また、返済に際し、どのようなことに注意を払う必要があるのだろうか。</div> | 3分 | 2 入学時の経費やスマホの購入などの例を挙げながら学習問題を身近なものとして把握させる。 |
| | 3 返済方法の主な例として「分割払い」や「リボ払い」について表を読んで理解する。 | 7分 | 3 「24回払い」や「金利・手数料なし」という耳慣れた言葉を例に挙げながら「分割払い」と「リボ払い」の違いについて説明する。 【知識・理解】 |
| | 4 「分割払い」の毎月の支払額と総額について説明を聞く。 | 10分 | 4 消費者金融のシミュレーションを使って、返済金及び総額を計算した結果を伝え、感想を尋ねる。 |
| | 5 設定に従ってリボ払いの1回目の支払額を計算する。 | 15分 | 5 異なる3つの設定に対して手数料や元金充当を計算する。 【技能】 |
| | 6 周りの生徒と計算結果について感想を述べあう。 | 5分 | 6 「リボ払い」において毎月の返済額は変わらないが、返済回数や総額が設定によって大きく異なることを理解させ、お金の大事さを考えさせる。 【見方・考え方】 |
| | 7 まとめ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">お金を借りるときには、返済計画を立ててから借りましょう。</div> | 3分 | |
| | 終末 | 8 感想を書く。 | 5分 |

写真8 導入の場面



写真9 私立高校入学時に係る費用の概算



写真10 「分割払い」と「リボ払い」の計算中



写真11 解説を聞いて確認中



〔生徒の感想〕

- 今日の授業を通して、私立高校に入るときにはこんなにお金がかかるんだなと思ったし、お金を返すということが、どれだけ大変なことなのかを知ることができて、とてもいい時間になりました。これを活かしていきたいです。
- リボ払いを使うとこんなにもたくさんのお金を返さなければならないというのを知って驚きました。自分も将来高い買い物などをリボ払いで買うときは、返済計画をしっかりと立てていきたいとします。計算がとても難しかったです。
- 分割払いは知っていたが、今回初めてリボ払いについて知った。リボ払いは、手数料がたくさんかかり、元々の利用額によって手数料が結構かかる場合があるので、しっかりと計画を立てて、物等を購入したいと思いました。
- 今回の授業で、リボ払いの「闇」が良く分かりました。僕は、物を買うときは、リボ払いや分割払いを使わずに、お金を貯蓄してから一括払いで買おうと思います。
- リボ払いの怖さを学ぶことができました。大人になってから色々なやりくりをすると思うので、今日学んだ「返済計画を立ててからお金を借りる」ということを頭のどこかに入れておきたいとします。そして、貯金もしっかりとしようと思いました。
- 「分割払い」や「リボルビング払い」という言葉を聞いたことがなかったので、今日この50分間

で知れて、とても良い勉強になったと思います。高校に入学するときなども必要になってくる計算方式なので覚えたいです。計算機も使わないと出ない数字もあったので、日頃から計算機も使いこなせるように頑張りたいです。

- 今回の金融教育を受けて、お金の返済がどのような仕組みで行われているかを初めて知りました。リボ払いは特に複雑で、返済方法が難しく、返済するときは簡単に考えてはいけないんだなと思いました。今回の学習をこれからもしっかりと心に留めて、活かしていきたいです。
- お金を借りて返済するときの方法、そしてその方法のメリット、デメリットを今日の学習で初めて知ることができて良かったです。僕は、例えば10万円借りたら、ただ10万円返せば良いと思っていたので、今日学んで将来のためになりました。
- 私は、今日の授業でお金の使い方をもう少し考えていかないといけないなと思いました。私たちはもう少ししたら高校生になります。その時にお金に困らないように、家族と一回話していきたいと思いました。

7 「租税教室」

- (1) 目的 税についての知識を高めるとともに、税がどのように使われているのか身近な学校や家庭を例に考え、今後の生活や将来に生かせるようになる。
- (2) 日時 令和3年7月2日（金）6校時（15：00～16：15）※作業カット
- (3) 場所 本校体育館
- (4) 参加者 本校全生徒（158名）、職員
- (5) 講師 税理士 濱崎育久氏
- (6) 講演テーマ 「税と暮らし」
- (7) 本時の展開・講演内容予定

| 過程 | 講演内容 | 留意点 |
|-------------|---|---|
| 導入 (5分) | 税理士とは何か。税理士の扱う仕事の内容の紹介。 身近なところで仕事をしていることを気付かせる。 | 生徒のイメージ 「自分たちとは関係のない仕事」などが考えられる。 |
| 展開 (30分) | <ul style="list-style-type: none"> ・資料「わたしたちの生活と税」（租税教育推進協議会）を使っての説明。 ・国や霧島市の財政状況などについて説明する。 ＜例＞消費税，住民税，入湯税など ・税金のお金はどんなところに使われているのか。最近自然災害などが多く発生しているが、その際も復旧等が税金からのお金でまかなわれている。 ・DVD視聴「マリンとヤマト不思議な日曜日」税金のない世界になったら、どのようなこ | <ul style="list-style-type: none"> ・資料を活用する際に、指示されたページを開いているか教師が見回る。 ・自分たちの住んでいる国や町のことについて知る。 ・税金で集められたお金は、身近なところで使われていることを実感させる。 ・税金を払うことで、自分たちの生活が守られているこ |

| | | |
|------------|----------------------|--------------------------|
| | とが起こりえるのかを考えさせる。 | とに気付かせる。 |
| 終末 (5分) | ・一億円の札束（レプリカ）を持ってみる。 | 生徒のイメージ 「意外と少ない，けど重い」 |

(8) 感想文記入 (15分間)

生徒は講演終了後、各教室に戻って感想文を記入する。

写真12 講演の様子



写真13 講話を聞きながら資料の確認



写真14 DVDの視聴写真



15 1億円のレプリカ体験



〔生徒の感想〕

【1年生】

○今日の授業で税について学んだことは、「税金は、暮らしにかけがえのないもの」だと知りました。例えば、消防署、警察、公園、教育（学校）などはたくさんの費用がかかり、一人でもかなうのは大変なことだとも知りました。また、現在は少子高齢化が進んでいて、国の借金が歳入の半分近くを占めている事実も初めて知りました。なので、私たちにできることは、税について早いうちから知り、しっかりと大人になっても税金を払うことが重要だし、義務になっているので、「面倒くさいな」と思わないようにしておきたいです。

【2年生】

○今日の租税教室で、僕たちの生活にとって税金がどれだけ大切なものであるかがよく分かりまし

た。去年聞いたときはよく分からなかったことも今回のお話を聞いて分かりました。税金の種類
の多さや、国が借金をしているということに驚きました。税金はいやだなと思うこともあるけ
ど、しっかり納めることで自分の生活が助かるので、しっかり理解して、今日学んだことを生か
して生活していきたいです。

【3年生】

○私は、租税教室を聞いて改めて税金の大切さ、重要性をよく知ることができました。特に、ビデ
オであった火事が起きて、火を消防の人に消してもらったら、お金を払わないといけないこと
や、事故を起こしてケガなどになった時、お金がないから救急車を呼べないということがあると
分かったので、そんな事にならないように、税金などこの世の中の制度を大切にしていきたいと
思います。そして、「税金は社会への会費」という言葉を忘れずに生活していきたいです。今日
は本当にありがとうございました。

○小学生のころなどは、税金がなんのためにあるのかも分からなかったけれど、租税教室を通して
税金がどれだけ大切なのかを知ることができた。税金がないとこの社会は安定しなくてどどん
環境が悪くなっていくので、税金について知り税金を大切にしていこうと思った。

8 第1学年 実践

特別活動（金融教育）学習指導案

日時 令和3年9月29日（水）5校時

場所 霧島市立陵南中学校図書室

対象 1年生(男子23名女子25名計48名)

指導者 外部講師

1 題材「契約」について学ぼう

2 題材設定の理由

2022年4月より成年年齢が20歳から18歳に引き下げとなり、大きな違いとして、18歳以降は今まで
保護者の同意が必要であった「契約」行為が単独で可能となる。そのため、消費者トラブルや若年
層をターゲットとした詐欺等が増加することが懸念されている。本授業を通じて「契約」について
理解を深めることで、生徒の将来を自分の力で守れるようにしてほしい。

3 本時のねらい

- (1) 今後18歳で契約が単独で可能となること、成立要件や種類といった契約の基礎知識を身に付
ける。
- (2) 契約の注意点を学ぶ。トラブルの相談先として消費生活センターを選ぶことができる。

4 本時の展開

| 過程 | 生徒の活動 | 指導上の留意点 |
|-------------|-----------------------------|---|
| 導入 (8分) | 1 成年年齢引き下げを見据えて契約に関する知識を学ぶ。 | クイズを行い，成年年齢引き下げについて説明，また単独での契約が可能となることを理解する |
| 展開 (35分) | 2 契約とは何かを学ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・個人ワークを行い数人から発表予定。また契約に当てはまるクイズでは身近な例で考える。 ・ワークを通じて現在の理解度を確認し，正しい知識を学ぶ。また日常行為の中にも契約に当てはまる行為が沢山あることを理解する。 |
| | 3 契約の成立要件を学ぶ。 | ・契約は口約束で成立すること，契約書はトラブル防止のために作成されることを理解する。 |
| | 4 契約の注意点を学ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・契約は原則取り消し不可であり，契約の認識が甘いとトラブルになることを理解する。 ・例外的に取り消し可能な制度（クーリングオフ）もあることを説明する。 |
| 終末 (7分) | 5 振り返り，確認テスト，相談先の紹介。 | ・確認テストで振り返りを行い，トラブルがあった際の相談先として消費生活センター等を説明する。 |

○1年生の授業の様子～「契約」について学ぼう～

写真16 リモート講義



写真18授業の様子



写真17 講師との対話

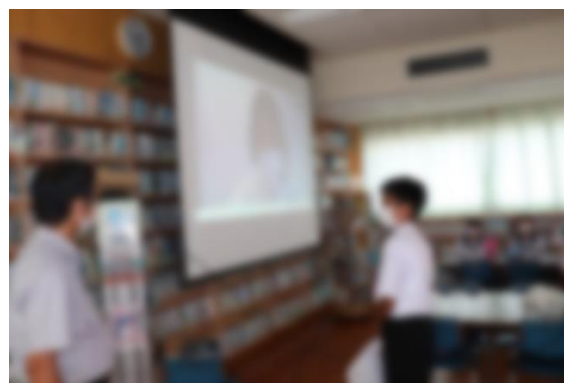


写真19授業の様子



〔生徒の感想〕

- 今日は、「契約」のことについて学びました。契約なんかしていないと思っていたけど普段の生活の中でもたくさん契約があって驚きました。契約は口約束でも成立してしまうということだったので気をつけたいです。
- 最初、契約という言葉聞いてもピンときませんでしたが、聞いているうちに少しずつ分かってきました。物を買うときによく紙に書いているけど、もしもの時にトラブルにならないようにするためだということが分かりました。
- 契約は簡単に取り消すことはできません。これから僕たちが大人になっていくにつれて契約することも多くなってくると思うので、しっかり考えた上で契約をしていきたいです。
- クイズを通して楽しく契約のことについて学ぶことができました。契約は、私が思っていた以上に身近なものだったので、帰ったら家族にも話してみたいです。
- 契約でのトラブルが起こった際に、相談できる場所があることを知れて良かったです。クーリングオフ制度というものもあって取り消すこともできるけど、何でもできるわけではないようなので、制度の内容を知っておくことは大事だと思いました。

9 第2学年 実践

特別活動（金融教育）学習指導案

日時 令和3年9月28日（火）5校時

場所 霧島市立陵南中学校 図書室

対象 2年生 男子27名 女子30名 計57名

指導者 外部講師

1 題材将来のお金について学ぼう

2 題材設定の理由

生活を営む上で、お金は必要不可欠であり、お金を稼ぐためには働くことが必要であるが、収入は働き方（雇用形態）や最終学歴に左右されやすい。また支出面では3大資金といったライフイベントにかかる費用もありそれらの金額を把握しておくことが重要である。それらを踏まえ、社会人になると収入と支出のバランスを上手に保ちつつ、貯蓄をすることも大切である。本授業を通じて、生徒に自身の将来に関するお金について考えてほしい。

3 本題のねらい

- (1) 多様な働き方について把握し、働き方や学歴によって収入が変化することを学ぶ。
- (2) ライフイベントにかかる費用（3大資金）について学び、大まかな必要資金を把握する。
- (3) 収入と支出の管理（家計管理）の重要性について理解する。計画的な貯蓄を実践できる。

| 過程 | 生徒の活動 | 指導上の留意点 |
|----|--|--|
| 導入 | 1 将来のお金について学ぶ (多様な働き方, 3大資金, 家計管理) | <ul style="list-style-type: none"> ・社会人となり自分で稼ぐこと, 将来必要となるお金があることを学ぶ。 |
| 展開 | 2 多様な働き方について理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・将来なりたい職業を考え, どのような働き方があるかを学ぶ。 ・中学生の人気職業ランキングを用い, ベスト3に当てはまるものを発表させる。 ・「正社員」と「正社員以外」の年収差や福利厚生の違いを説明する。 |
| | 3 3大資金 (住宅資金, 教育資金, 老後資金) について学ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・クイズ形式で3大資金に当てはまるものを発表してもらおう。 ・3大資金の金額をデータを使って説明する。 |
| | 4 家計管理について学ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・将来, 一人暮らしを始めた時を想定し, 収入と支出のバランスを上手にとることが重要であることを説明する。 ・計画的に貯蓄を行うための計算式 (収入, 支出, 貯蓄) を学ぶ。 (収入-貯蓄=支出) |
| | 5 家計予算表を作成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・給与明細書の見方を用い, 手取り収入を説明する。 ・1か月の家計を想定した表を作成し, 収支を+ (プラス) にすることの難しさを学ぶ。 |
| 終末 | 6 振り返り。 | <ul style="list-style-type: none"> ・将来様々なお金が必要になるため, 先 (進路決定も含め) を見据えた行動をとる大切さを学ぶ。 |

写真20 導入の場面



写真21 三大資金について考え中



写真22 家計予算表を作成中



写真23 振り返り



〔生徒の感想〕

- ・私はまだなりたい職業が決まっていませんが、生活に必要なお金を稼ぐのは大変だということが分かりました。親が稼いでくれたお金を大事に使っていきたいと思います。
- ・三大資金という言葉は初めて聞きました。その中には教育資金も入っていて、僕たちが大人になるのにたくさんのお金がかかっていることが分かりました。
- ・僕はお金を貯めるのが苦手なので、まず「貯蓄」するお金を考えてから生活するというのは「なるほどなあ。」と思いました。つつい使い過ぎてしまうので、貯めたいお金を残してやってみようと思います。
- ・正社員と正社員以外では手当や収入が全然違うので、結婚や家族のことを考えると正社員がいいと思いました。でも、自分が大人になった時にどうなっているのか心配です。

10 第3学年 実践

特別活動(金融教育)学習指導案

日時 令和3年9月28日(火) 6校時

場所 霧島市立陵南中学校 図書室

対象 3年生 男子30名 女子23名 計53名

指導者 外部講師

1 題材 インターネットトラブルに遭わないために

2 題材設定の理由

情報化社会の進展やキャッシュレス決済の普及により、インターネットトラブルの被害が増加しており、詐欺の手口も巧妙化し若年層の被害も少なくない。本授業を通して、インターネットトラブ

ルの事例を知り，生徒に対応策を身につけて欲しい。

3 本時のねらい

- (1)インターネットトラブルや詐欺は生徒自身も被害者になる可能性があることを理解する。
- (2)ワンクリック詐欺・フィッシング詐欺について，事例を通して対応策を身につける。
- (3)トラブルの相談先として，消費生活センターを選ぶことができる。

4 本時の展開

| 過程 | 生徒の活動 | 指導上の留意点 |
|----|-----------------------------|--|
| 導入 | 1 若年層におけるインターネットトラブルについて学ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報化社会，キャッシュレス社会の進展に伴い（インターネット）トラブルも増加していることを説明する。 ・若年層でも被害に遭うインターネットトラブルを紹介する。 |
| 展開 | 2 ワンクリック詐欺について学ぶ。 | 動画を視聴させ，ワンクリック詐欺の事例や対応策を学ばせる。 |
| | 3 フィッシング詐欺について学ぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事例（詐欺メール）を用い，詐欺に引かれるポイント，個人情報の流出によってどんな被害に遭ってしまうかを考えさせ，発表させる。 ・SNSの乗っ取り被害事例について説明する。 ・フィッシング詐欺の対応策を理解させる。 |
| | 4 課金トラブルについて学ぶ。 | 親のクレジットカードやキャリア決済を使用し，ゲームアプリの課金トラブルが発生していることを説明する。 |
| 終末 | 5 相談先の紹介。 | トラブルがあった際の相談先として消費生活センター等の説明をする。 |

写真24 導入の場面



写真25 生徒に質問している様子

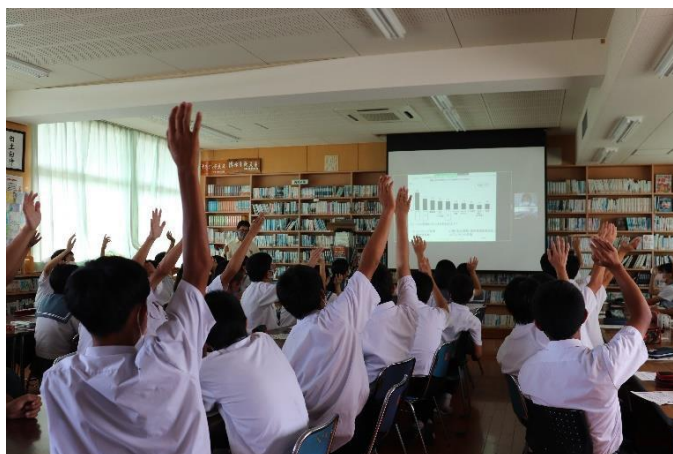


写真26 インターネットトラブルの対応検討中



写真27 質問されたことについて発表中



〔生徒の感想〕

- インターネットを日頃何気なく使っていますが、便利な反面たくさんの危険もあることが分かりました。これから使用する時には、使い方に気をつけて使用したいと思います。
- 今回聞いたインターネットトラブルは、誰にでも起こりうるものだと感じました。今回学んだことを忘れずに、もし身近に困っている人がいたら助けてあげたいです。
- 私たちがこれから生きていく社会は、より一層インターネットやオンラインサービスが当たり前の時代になっていくと思います。だからこそ知っておかないと大変な目にあうこともあると思うので、フィルタリングやあやしいと感じたものにはアクセスしないようにしたいと思います。
- インターネットトラブルに巻き込まれた時に、相談できる場所があると知ることができたのは良かった。自分ではまだ正しく使いこなせる自信がないので、高校生になってスマートフォンを持つようになったら学んだことを忘れずに気をつけていきたい。

1 1 研究授業実践

技術・家庭科（技術分野）学習指導案

日時 令和3年11月10日(水)5校時

場所 霧島市立陵南中学校 パソコン室

対象 2年2組 29人

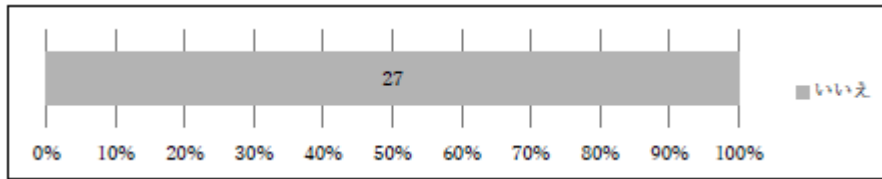
指導者 講師 石山裕輝

1 内容及び題材名 D 情報の技術

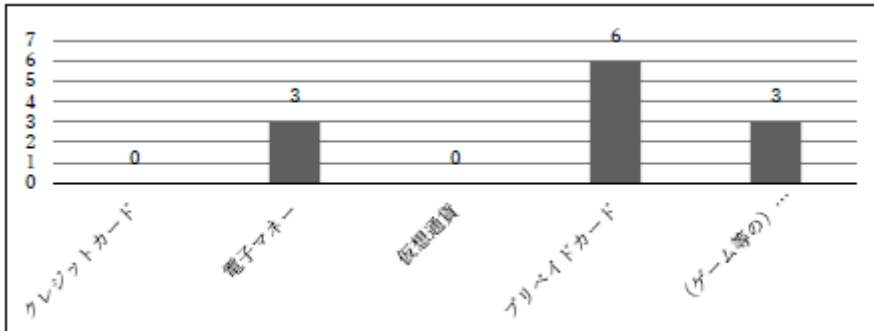
「情報の技術を適切に活用し、便利で安全な生活の実現を目指そう」

2 生徒の実際（実施日：令和3年11月1日，対象：2年2組27名）※一部抜粋

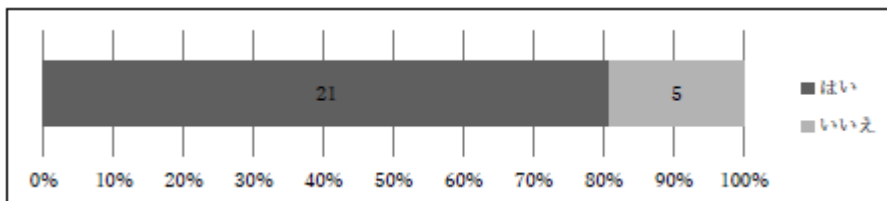
(1) フィンテックという言葉を知っていますか。



(2) 使ったことがあるものに○をしてください。



(3) (2) のものを使用するうえで危険な部分がある。(1名無回答)



(4) どのような危険性がありますか。

- ・使いすぎる。・(落とした時などに)悪用される。・お金を払うという自覚がない。
- ・具体的にはわからない(13名)

<考察>

アンケートの結果から、普段スマートフォンを使用している生徒の割合が95%以上と非常に高い。また、自分のスマートフォンを持っている生徒が60%近くいることがわかった。さらに、自分や家族がPC、タブレットを持っている生徒は50%以上だった。使用頻度、使用時間を質問したところ、70%以上の生徒が「毎日使用している」と回答し、平日・休日ともに「1日1時間以上使用している」と回答した生徒が60%近くいた。使用内容としては、「Web検索」が最も多く、次いで「SNS、カメラ・動画」の順に続いた。このことから、各家庭において情報機器は高い割合で普及してきており、生活の様々な場面においてスマートフォンやPC、タブレット端末を使用していることがわかった。

次に、「情報の技術」が生活や社会を便利にしていると80%以上の生徒が感じている。具体的には、「分からないことがあったら調べられる、友達との会話、人とのコミュニケーションがとりや

すくなった」と回答していた。このことから、生徒の多くが「情報の技術」が生活や社会を便利にしていることを実感していることがわかった。

フィンテックという言葉は全員知らなかったが、使ったことがあるものとしては、「プリペイドカード、電子マネー、（ゲームなどの）課金」と回答した生徒が数名いた。プリペイドカードなどを使用するうえで危険性があると回答した生徒が21人おり、生徒はプリペイドカード等を利用したことはなくても危険性を感じている。さらに、10年後の利用状況について質問したところ、85%近くの生徒が「今より使われている」と回答した。

以上より、超高度情報化社会と言われる今日において、生徒に情報と技術のしくみや特徴について理解させることで、生徒が様々な情報技術のメリット・デメリットについて主体的に考えながら使用していくことが大切であると考えます。大半の生徒はフィンテックを使用したことがないという実態を踏まえ、自らが使用するであろう場面を想定しながら体験的に学ばせることで、将来へとつながる深い学びへと繋げていきたい。

3本時の実際

(1) 主題「フィンテックの正しい使い方」(5/5①)

写真28 授業の様子



写真29 授業の様子



写真30 授業の様子



写真31 授業の様子



(2) 学習課程

| 段階 | 学習の流れ | 時間 | 学習活動 | 形態 | 指導上の留意点 | 教具・資料 |
|----|--------------------------------|----|--|----|--|--------------------|
| 導入 | ほりおこし はじめ | 6 | 1 フィンテックに関する事件を知り、どのような使い方をすると良いのか疑問を持つ。 | 全 | 1 生活を豊かにしている情報技術にも危険性が隠されていることに気づかせ、本時の課題へ繋げる。 | 1 PC, TV ワークシート |
| | 課題の共有化 フィンテックを利用した事件について考える | 3 | 2 学習課題を設定する。 | | 2 生徒の言葉から引き出す。 | 2 ワークシート |
| | 学習課題の設定 | 1 | 3 学習課題を読み上げて確認する。 | | 4 学習課題を確認できていない生徒に補足説明を行う。 | 3 ワークシート |
| 展開 | 自己探求 わかっただか | 7 | 5 キャッシュレス決済、仮想通貨の仕組みについて学ぶ。 | | 5 使ったことがある、知っている生徒の言葉から要点を押さえる。 | 5 PC, TV ワークシート |
| | 補 | 4 | | | | |
| | 仕組みの学習 | 1 | 6 ペアで仕組みについて確認する。 | | 7 机間支援を行い、理解度が不十分の場合は再度説明する。 | |
| | わかっただか | 6 | 8 フィンテックのメリット・デメリットについて考える。 | | 8 自らの生活経験や既有知識をもとに考えさせる。 | 8 ワークシート |
| | 補 | 7 | | | | |
| | 相互練り上げ わかっただか | 4 | 9 全体で共有する。 | | 9 机間支援の際に意図した回答をしている生徒を指名する。 | |
| | フィンテックの特徴について議論する | 8 | | | 10 考えが不十分な場合は、教師が意図した内容を生徒の言葉から引きだし補充する。 | |
| | わかっただか | 5 | 11 フィンテックのデメリットに対する解決策を考える。 | | 11 机間支援を行い、難しそうにしている場合はリーダータイムを設け、考え方のヒントを与える。 | 11 ワークシート |
| | 補 | 10 | | | | |
| | 自己解決 解決策について議論する | 3 | 12 解決策を全体で共有する。 | | 12 机間支援の際に意図した回答をしている生徒を指名する。 | |
| 終末 | わかっただか | 3 | 14 提示した事件のセキュリティ対策について考える。 | | 14 本時の学びを基に、生活の中の事象と関連づけさせる。 | 14 ワークシート |
| | 補 | 13 | | | | |
| | 事件のセキュリティ対策について考える | 7 | 15 まとめを行う。 | | 15 メリット、デメリット、改善策から自らの言葉でまとめさせる。机間支援を行う。 | 15 ワークシート |
| | 自己評価 まとめ | 4 | 16 自己評価を行う。 | | 16 本時を振り返るとともに、学びを生活に活かそうとする態度を育む。 | 16 ワークシート |

1 2 研究授業実践

社会科学習指導案（公民的分野）

日時 令和3年11月11日（木）3校時

対象 霧島市立陵南中学校3年1組

（男子15名女子11名 計26名）

指導者 教諭 濱田星也

1 単元名 貨幣の役割と金融

2 生徒の実態

【アンケートの質問項目】11月1日実施（月）※3年1組のみ実施（計：25名，欠席1名）

1. あなたは、「金融」という言葉を聞いて、どのようなことをイメージしますか。自由に書いてください。

- ・お金（9人） ・お金の使い方（4人） ・お金を借りること（2人） ・銀行（2人） ・税金（2人）
- ・お金の仕組みや株 ・お金が関係しているイメージ ・お金のトラブル ・難しいイメージ
- ・お金の貸し借り ・お金から始まる問題 ・金額や使い方に対しての問題

2. あなたは、「金融」について学ぶことについてどう思いますか。記号に○をつけてください。

ア とても大事（13人） イ 大事（10人） ウ あった方がいい（2人） エ なくてもいい（0人）
オ 必要ない（0人）

3. 2.で「とても大事」，「大事」，「あった方がいい」と答えた人は，なぜそう思ったのか，その理由を書いてください。

- ・将来，自分でかせげるようになった時に必要だから（4人） ・お金の大事さが分かるから（2人）
- ・生活するのにかかせないものだから（2人）
- ・使い方を学ぶことは良いことだし，大切だから（2人） ・お金についての問題がおきないから
- ・お金の使い方はとても大切だから ・大人になった時に必要だから ・お金に関わることだから
- ・社会に出たときに役に立つから ・お金について学ぶことができるから
- ・将来お金を借りる時に，学んでいないと困ったことになるかもしれないから
- ・知っていても損はないと思うから
- ・「1」でこんな答え（お金）しか書けないし，将来必要になるから
- ・自分だけ知らないと取り残されるから ・大人になる上で得ておかなければならない知識だから

- ・今、キャッシュレスなどが流通してきているので、その仕組みを理解するため
- ・将来、お金を使うことが多くなるから

4. 2. で「なくてもいい」，「必要ない」と答えた人は，なぜそう思わなかったのか，その理由を書いてください。

※「なくてもいい」，「必要ない」は0人。

5. あなたは将来働いて得た「給料（お金）」を，自分自身で管理していく自信はありますか。

アとてもある(6人) イある(9人) ウあまりない(10人) エまったくない(0人)

6. 5. で答えた理由を，それぞれ書いてください。

【5. でア・イと答えた人】

- ・自分のことは自分です自信がある・しっかり今でも使えているから・貯金をしているから
- ・今までお金を使って，後悔したことがないから・計画的にお金を使うことを考えているから
- ・自分で管理していかないといけないから・生活に苦しむかもしれないから
- ・お金の正しい使い方が分かっているから・自分で管理するとどれくらい持っているか分かるから
- ・自分で管理をして，将来家族ができた時に必要だから・特に理由はない
- ・今自分のおこづかいをしっかり管理できているから
- ・一人暮らしなどに理解しておかないといけないから
- ・計画してお金を使う方だから。どうしても必要な物以外買わないから

【5. でウと答えた人】

- ・すぐ物をなくすから・ものを管理するのが苦手だから・具体的な給料や生活費が分からないから
- ・お金の価値や基準が分からないから・お金をもっと大切に使うことができていない時があるから
- ・おこづかいでもらったお金は管理しているが，その他のことは親がしているから
- ・あまり貯金などをするのが得意じゃないから・どのようにしていけばいいのか分からないから

【考察】

生徒に「金融という言葉にどのようなイメージを持っているか」と質問したところ，多くが「お金」に関する意見であり，正しく「お金の貸し借り」と答えた生徒は1人だけだった。このことから，多くの生徒は金融について十分に理解していないことが分かった。ただ，「金融について学ぶ

ことについてどう思うか」という質問には、全員が「とても大事」、「大事」と答えていることから、生徒は将来に向けて金融について学習することの重要性を理解していると思われる。さらに、「将来働いて得た給料を管理していく自信があるか」という質問には、生徒の6割が「とてもある」、「ある」と答えており、予想より自信があると回答する生徒が多かった。もっとも、生徒にとって実感のあるお小遣いの範囲内でお金を使うのと、生活に関わる全てのお金を管理するのでは意味合いが大きく違うので、授業を通じて説明していきたい。また、生徒の4割が将来の給与管理に対する自信の有無について「あまりない」と回答していることから、本授業を通して不安を少しでも減らせるようにしていきたい。

3 授業の実態

| 過程 | 主な活動 | 形態 時間 | 指導上の留意点 ☆：基準 ◎発問 ○手だて |
|----|---|------------------------|---|
| 導入 | 1 前時の小テストを行う。 | 3分 個人 | ☆積極的に発表することができる。 (観察：関・意・能) |
| | 2 日本で使われている貨幣の種類を発表する。 3 本時の学習目標を確認する。 | 3分 一斉 | ◎現在、日本で使われている貨幣はいくつあるだろうか。額の大きい順には発表してください。 ○アンケート結果を元に、生徒の「金融」に対する意識・考え方を紹介する |
| | 貨幣や金融は、私たちの社会でどのような役割を果たしているのだろうか。 | | ・学習目標を理解させる。 |
| 展開 | 4 もしお金がなかったら、どのような問題が発生するのかを考え、ワークシートに記入する。 | 10分 個人 ↓ グループ | ◎欲しいものを手に入れるときはどのような方法になるだろうか。 ☆意見をしっかり発表することができるか。 (観察・発表：関・意・能・表) |
| | 5 物々交換が引き起こす問題をロールプレイングをして考え、ワークシートに記入する。また、グループの意見をまとめタブレットを使って発表し、共有する。 | 15分 グループ | ○ロールプレイングを通して、物々交換の問題点を考えさせる。 ☆役を演じ、意見交換ができているか。 (観察・発表：関・意・能・表) |
| | 6 お金の貸し借りや金融についての確認をする。 | 6分 個人 | ◎お金が足りない状況とは、どんな時だろう。 ○お金を借りられるところを挙げていく。 ◎借りられるお金は、どこからくるのだ |

| | | | |
|--|--|----------|---|
| | 7 資料7 (教) や資料2 (資:P112)を参考に、直接金融と間接金融の違いを考え、ワークシートに記入する。 | 6分 ペア | ろうか。 ○ペアで教科書や資料集を使って違いを読み取る。 ○ペアで確認しながら、記入させる。 ☆互いに意見交換ができていますか。 (観察:関・意・能) |
| 終末 | 8 まとめを考えて書く。 9 教師のまとめを書く。 | 7分 個人 | ☆自分で考え、習った語句を適切に使いま とめることができています。 (ワークシート:知・思・判・表) ・ワークシートに書き写す。 |
| 貨幣を使うことで、時間や場所の制約を受けずに商品を買売できる。金融は、お金の貸し借りを円滑に行い、経済を活性化させる働きをしている。 | | | |

(生徒の様子)

物々交換のロールプレイングでは、生徒が活発に意見を出しながら活動していた。各班で話し合った内容をタブレットで写真に撮って送り、生徒全員で共有することができたのは良かった。本授業を通じて金融に対しても、興味・関心を持つ生徒もいたようだった。

Ⅲ研究のまとめ

<令和2年度>

1 成果

- (1)密接に関連している「金融・金銭オリエンテーション」と「キャリア教育」を合わせて行うことで、「金融」が今後の人生やキャリア形成においてで重なる部分があることを生徒に学ばせることができた。
- (2)生徒へのアンケート調査等により、生徒のお金に対する意識や捉え方、既存の知識や金銭感覚等を把握することができた。
- (3)全学年を対象とした「租税教室」の実施や、全学級でお金に関する授業を実践したことで、生徒の金融・金銭教育に対する意識を高めることができた。
- (4)生徒に私立高校入学時に係る費用を確認させたほか、お金を借りた際の返済計画の作成やお金が必要な際のロールプレイング(借りる人・貸す人・金融業者)を通して、今後の将来設計の中で金銭・金融の知識が必要だということを実感させることができた。身近な事例に取り組みせることで、多くの生徒は自分自身のこととして受け止めることができた。

2 課題

- (1)金融教育に関する基礎的・基本的知識を深めるため、全職員での研修をさらに行い、知識を積

み重ねるとともに、全教育活動での視点から指導する機会を増やしていく必要がある。

- (2)金融教育で学んだことを生徒が学校生活や日常生活でどのように活かしているか、またお金に対する意識や考え方がどのように変わりつつあるのかなどを把握するために、実践後のアンケート調査を行う必要がある。
- (3)学校内だけの金銭・金融教育では学習の広がりには限界があるため、関係機関や専門家、家庭や地域と連携を図りながら研究を進めていく必要がある。
- (4)新型コロナウイルス感染症の影響により、「職場体験学習」などの行事が実施できないなど、様々な学習活動や体験活動に制限を設けざるを得なかった。次年度の教育課程における各教科・各領域のどの場面において金融教育と関連付けた指導ができるのか再度洗い出し、取り組みや実践を開発していく必要がある。
- (5)生徒会活動との連携を取りながら、生徒主体の活動にもつなげていく。

<令和3年度>

1 成果

- (1)新型コロナウイルス感染症の影響で計画した活動をできなかったが、オンラインを活用することで、外部講師との打ち合わせや、授業（講義）を行うことができた。
- (2)1年目に引き続き全学年で「租税教室」を実施することで、より金融に対する知識を深めることができた。生徒の感想にも前年度よりも理解をより深めることができたという生徒が何人もみられた。
- (3)外部講師と連携して各学年に応じたお金に関する授業（講義）を実施することで、生徒の金融・金銭教育に対する意識をより高め、興味・関心を持たせることができた。
- (4)金融・金銭教育に関わる授業を2年生の技術・家庭科（技術分野）、3年生の社会（公民）の授業で実施することにより、生徒だけでなく教師の意識を高めることができた。

2 課題

- (1)金融・金銭教育に関する基礎的・基本的知識を深めるため、全職員での研修をさらに行い、知識を積み重ねたいと思っていたが、研修時間の確保が難しかった。
- (2)金融・金銭教育で学んだことを生徒が学校生活や日常生活でどのように活かしているか、またお金に対する意識や考え方がどのように変わりつつあるのかなどを把握するため、実践後のアンケート調査を行ったが、調査結果を授業に十分に活かすことができていない。
- (3)学校内だけの金銭・金融教育では学習の広がりには限界があるため、2年目は関係機関との連携を進めることができたが、家庭や地域との連携を図ることができなかった。
- (4)「修学旅行」や「職場体験学習」などの学校行事の中に金銭・金融教育を取り入れることを計画したが、2年目も新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。

以上